

鳴満神社便り

令和三年八月号（第三十五号）

発行 嶋満神社奉賛会

狛犬を新調

当社参道の登り口に鎮座する一対の狛犬ですが長年の風雨、日照にさらされて風化し、見るも無残な状態にありました。このままでは崩落の危険もあり、お参りの方に危害が及ばぬうちにと、この度、浮島会の方で新調されることとなりました。

去る七月三十一日、辻石材店さんにお世話になり、無事設置が完了いたしました。今後は新しい狛犬がお参りの方々や山で遊ぶ子らを見守ってくれることでしょうか。

尚、当奉賛会からも一定の寄付をさせていただきます。台座の裏側には浮島会の名とともに、奉賛会の名も刻んでいただいていることをご報告いたします。

本年度の例祭、無事終了

本年度も、当嶋満神社の例祭が去る八月二十二日（日）、無事終了いたしました。今年は新しい狛犬の入魂も含めて参道入り口、拝殿でと、二度のお祓いとなりました。

まだ新しい狛犬を拝んでおられない方は、是非一度、参道までおいでくださいませ。向かって右側、「阿吽」の口を開けた方、その口の中に注目！ですよ。



故郷のお社やしろ

どこの村にもその土地で大切に守られてきたお社があります。

今回は綾部市広瀬町、R27から少し高台へ上がったところにある広瀬八幡宮、そして同じ綾部市の上林町にある壱鞍（いちくら）神社です。

広瀬八幡宮の

祭神はもちろん「応神天皇」。石段を上がって境内から見下ろす山里の景色は壮大なパノラマ、まさに「日本の原風景」です。

行永から上林へ抜ける道を行くと赤い立派な鳥居がひときわ目を引く壱鞍神社、祭神は「コノハナサクヤヒメ」（山の神、安産の神、酒造の神）。

まさにその土地の素朴な信仰と結びついた氏神様という感じ。この神様はあるとき洪水で流されたのが、上林川の中の馬の背の形をした岩につかまっておられ、村民が助け上げて以来、壱鞍神社として尊崇したという言われがあります。この岩の形が名前の由来になっていることは容易に想像できます。

このように知らない土地の神様を訪ね、その言われを知るのも楽しいことですね。時間のある時はちよつと寄り道をしていくのもいいですよ。

今回はこれにて・・・。

